

令和 7 年度

第 1 回芽室町総合保健医療福祉協議会「障害者部会」

議事録

日 時 令和 7 年 5 月 26 日（月） 1 8 : 3 0 ~ 1 9 : 1 0  
場 所 芽室町役場 2 階 第 7 会議室

健康福祉課障がい福祉係

○ 会議次第

1 開 会

2 課長挨拶

3 議 題

(1) 芽室町基幹相談支援センターについて

(2) 第7期芽室町障がい者福祉計画及び第3期芽室町障がい児福祉計画（令和7年度事業）について

4 その他

5 閉 会

○ 出席委員

柴 田 正 博

紺 野 裕

塩 田 直 之

谷 口 智 則

小 池 和 枝

小 西 弘 和

植 松 哲 子

※太 田 寛 孝（欠席）

○ 事務局

健康福祉課

課長 森 真由美

課長補佐兼障がい福祉係長 清末有二

子育て支援課

課長 佐々木雅之

発達センター長 有本 和晃

芽室町基幹相談支援センター センター長 新明雅之

18時30分 開会

1 開会

2 課長挨拶

3 議 題

(1) 芽室町基幹相談支援センターについて

・令和7年4月1日より設置した芽室町基幹相談支援センターについて、その役割と今後の業務について芽室町基幹相談支援センターより説明。

(1) 第7期芽室町障がい者福祉計画及び第3期芽室町障がい児福祉計画（令和7年度事業）について

・別紙資料に基づき、事務局より説明。

◆各委員からの質問事項

- 1 質問： 放課後等デイは小学校以上。就学前の子で、昼間の療育だけ通っている子はいるか

回答： 就学前は児童発達支援。幼稚園保育所に在籍しながら利用している児童が多い。

質問： このことについて問い合わせがあったら、発達支援センターを紹介したらいいのか。

回答： 発達支援センターの情報提供をお願いしたい。

- 2 質問： ぐらんつ、えはこ、移転してきたのはわかったが、芽室町民は使い始めているか。

回答： 利用者も移ってきているので、新規利用者が続々と利用し始められる状況ではないかもしれない。

質問： その中に町民もいて、利便性は向上しているか。

回答： そのとおり。

- 3 質問： 制度が、漢字ばかりでわかりづらい。どこが相談先かわかりづらい。工夫を期待する。

回答： 意見として賜る。

- 4 質問： 官民協働というが 官からして、民に望むものはなにか。

回答： 官民協働を推進する際に、民に望むものを整理して伝えていかなければならないと気づかされた。行政は異動があるので、民間には、専門性のある人材と、その継続性を期待する。

質問： 民間事業所はどこも人材確保で苦労している。

回答： 承知しているが、町内民間事業所が、専門性と継続性を担保して事業を推進してくださっていることも承知している。連携体制のもと、お互いの利点を活用し合えるように推進していきたい。

- 5 質問： 発達障がい、落ち着きのない子、保育所に預かっているからわかる情報と、役場からの情報、詳しい情報を事前にもらいながら、加配を付けたり、支援体制を工夫したり、情報提供を官民で突き合わせて行っていけると良い。

回答： 意見として賜る。

6 質問： 乳幼児健診はどうか

回答： 1ヵ月児健診と5歳児健診が必要ではないかと言われているが、発達支援システムの中で情報共有が進んでいるので、5歳児健診については少なくとも悉皆検診は必要ない考える。

7 質問： 官民協働は実現すれば魅力的だが、行政のねらいと、民間のねらい、ゴールが同じでも小さな違いがある場合もあり、例えば医療的ケア児受入れ、現場を見てもらいながら、ひざを交えて何度か話せるとよい。

回答： 医療的ケア児受入れは、官だけではできない、また民間だけでもできない、官民協働の一事例。最低賃金を保障した障がい者雇用でも同様のことがあった。好事例を情報共有していきたい。

8 質問： 私は農業をやっている。JAがあり、農協でできないことを会社がやっているのでは、お互いできないところを補い合うとうまくいくのでないか。

南小では、障がいのある子は特別支援学級でしっかりサポートされている。

回答： 官民がお互いに利点を出し合い、できないところを補い合うような協議の場に、自立支援協議会を発展させていきたい。

質問： 役場でできないことを、民間がやっているのでは、うまく結びつくといい。そのとき何でも言える環境が良いと思う。基幹相談支援センターできた情報を知ったので、困った人がいたときに情報発信していきたい。

9 質問： 共生シンフォニー（障がい福祉施設）がご挨拶に来てくれた際に、畑を通じて、交流を企画することになった。どんな施設で、どんな方がいるのか、知ることから始まる。私たちも畑を余していたので助かるし、高齢者施設に子どもたちが来てくれると活気が出る。障がいのある方もやる気がでるなど、ウィンウィンな関係ができる。

高齢者宅に訪問すると、そのご家庭に働いてない成年がいることがわかり、対応など動きにつながることもある。もっとスピーディーにできないか、と思う。まだまだうまくできていない（施設として）、もっとネットワークを作っていきたい。

回答： ご説明した自立支援協議会を、ネットワークづくりの場ともしていきたいと考えている。

- 10 質問： 民間事業所として、事業継続、専門分野、が役割なのはわかるが、情報交換し、地域に貢献したいという思いもあるし、自立協議会を進めてもらえるとありがたい。官が持っているデータや情報を提供してもらおうと民間が動きやすくなることもあるなど、連携していく。

回答： 意見として賜る。

- 11 質問： 町内の事業所同士でも、こういうことやってるんだろうなと思いつつも、理解しきれていない。そういった理解から始めるといいのではないか。それぞれの施設の得意としているところを共有して、それだったらウチのここが強い、ということが出しあえる協議会がよい。

回答： 自立支援協議会をそのように運営していきたい。

19時10分 閉会